※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１７

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学(３年)	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新編　化学　(数研出版)						
副教材等	新課程フォローアップドリル化学　④有機化合物（数研出版） 新課程フォローアップドリル化学　⑤高分子化合物（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自然界を構成する物質についての基本的な理解と、自然界を支配する法則性の合理的な理解を目指し学習します。具体的には、「有機化合物」・「高分子化合物」に焦点をあて学習します。予習と復習をたくさんして授業内容の理解に取り組んでください。

2　学習の到達目標

・視覚教材による、科学的な現象を理解する。
・実験（演示実験・生徒実験）をとおして自然現象・化学現象を理解し表現する。
・化学の諸法則を用いた、計算や考察ができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 観察、実験を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。 これらを、ノートやワークシートの記述、観察・実験の記録及び定期考査の結果で評価します。	自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 これらを、ノートやワークシートの記述、探究活動の記録と発表、観察・実験の考察及び、定期考査の結果で評価します。	自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。 これらを、ノートやワークシートの記述、小テストの結果および、探究活動の記録と発表で評価します。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	有機化合物	有機化合物の特徴と分類 脂肪族炭化水素 酸素を含む脂肪族炭化水素 不飽和炭化水素	a: 構造異性体の関係を理解し、知識を身に付けている。代表的な官能基の性質に対する知識を身に付けている。有機化合物に関する観察・実験の基本操作や記録の仕方を習得する。 b: 構造式からその性質や反応性を考察、判断できる。 c: 有機化合物について観察・実験を行うとともに、それらを日常生活に関連付けて探究しようとする。	定期考査 プリント 観察実験ノート	定期考査 プリント 観察実験ノート	ノート 小テスト プリント 観察実験 探究活動
２学期	有機化合物	アルコールと関連物質 芳香族化合物	a: アルコールから派生する様々な物質との相互関係をはじめとする基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりする。 b: 構造式からその性質や反応性を考察、判断できる。 c: 有機化合物について観察・実験を行うとともに、それらを日常生活に関連付けて探究しようとする。	定期考査 プリント 観察実験ノート	定期考査 プリント 観察実験ノート	ノート 小テスト プリント 観察実験 探究活動
３学期	高分子化合物	天然高分子化合物 合成高分子化合物	a: 高分子化合物を理解し、知識を身に付けている。天然に存在する高分子化合物と合成された高分子化合物との違いと共通点を理解し、我々の生活にも通ずる知識を身に付けている。 b: 構造式からその性質や反応性を考察、判断できる。 c: 有機化合物について観察・実験を行うとともに、それらを日常生活に関連付けて探究しようとする。	定期考査 プリント 観察実験ノート	定期考査 プリント 観察実験ノート	ノート 小テスト プリント 観察実験 探究活動

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度